

四日市メリノール学院高等学校 2年 七五三 紗華

「訪れる人と暮らす人が笑顔になれる三重県」

私が将来つくっていききたい三重県は、訪れる人にとって魅力があり、同時に暮らす人が誇りを持てる県です。三重県には伊勢神宮や熊野古道などが全国、さらには世界に誇れる観光資源があります。しかし、それらの魅力が十分に伝わっていないと感じることが多いです。観光というと、有名な場所に多くの人が集まるイメージがありますが、三重県の魅力はそれだけではありません。地域ごとに異なる風景や食文化、そして人々の温かさも三重県ならではの魅力です。こうした身近な魅力を一つ一つ発信するだけでなく、県全体としてつなげて伝えていくことがこれからの三重県には必要だと思います。また、観光によるにぎわいは、地域を元気にする力があります。人が訪れ、交流が生まれることで、地域に新しい価値が生まれます。その中心となるのは行政や企業だけでなく、私たち県民一人一人です。地元についてよく知り、自分の言葉で伝えられる人がふえることが、三重県魅力をさらに高めると思います。高校生である私たちも、三重県で育った一人として、その魅力を伝えていきたいです。学校生活や日常の中で感じた三重県の良さを発信することで、次の世代につながる観光の形をつくっていききたいと思います。私は訪れる人と暮らす人の両方が笑顔になれる、そんな未来の三重県にしていきたいです。